

# ゲノム・食虫植物・収斂進化



**福島 健児 博士**

国立遺伝学研究所 新分野創造センター 准教授

**2025年10月20日（月）**

**16:30-18:00 農学部 第6講義室**

生物界は例外の宝庫であり、一事が万事とならない底知れなさを帶びている。そして、植物園や園芸店で一際目を引く食虫植物の魅力も、その例外性に由来している。食虫植物は植物でありながら、動物を騙し捕らえ、文字通り食べてしまう。革新的ともいえる彼らの形質は、そのゲノム上でどのように規定されているのだろうか。その謎を解く鍵が、彼らの収斂進化にある。食虫植物の例外的にすら見える形質は、実は被子植物の進化の過程で10回以上も独立に出現している。本発表では、この収斂進化を「実験的反復」のようにとらえ、進化インフォマティクスと実験的アプローチを組み合わせた研究について紹介する。

問い合わせ先：生命農学研究科 縣 歩美 (agata@agr.nagoya-u.ac.jp)



Nagoya University  
Graduate School of Bioagricultural Sciences  
School of Agricultural Sciences